

283, 284, 285, 286, 287, 288(ⅡA)

1.10 挿入部位の剃毛

1.10.1 穿刺に先立って局所の剃毛はしない。除毛が必要であれば、医療用電気バリカンなどを用いる。289, 290, 291, 292(ⅠA)

1.11 カテーテル挿入部の抗菌薬含有軟膏やポビドンヨードゲルの塗布

1.11.1 抗菌薬含有軟膏を使用しない。293, 294, 295, 296, 297(ⅡA)

1.11.2 ポビドンヨードゲルを使用しない。298, 299(ⅡA)

1.12 カテーテル挿入部の観察

1.12.1 カテーテル挿入部の発赤、圧痛、汚染、ドレッシングの剥がれなどを毎日観察する。(ⅢC)

1.13 ドレッシング

1.13.1 滅菌されたガーゼ型ドレッシングまたはフィルム型ドレッシングを使用する。300, 301, 302, 303, 304, 305, 306, 307, 308(ⅠA)

1.14 ドレッシング交換の頻度

1.14.1 ドレッシング交換は週 1-2 回、曜日を決めて定期的に行う。309, 310, 311, 312, 313, 314, 315, 316, 317, 318(ⅢB)

1.15 一体型輸液ラインの使用

1.15.1 一体型輸液ラインを用いる方が良い。319, 320, 321, 322, 323(ⅢB)

1.16 ニードルレスシステム

1.16.1 ニードルレスシステムの感染防止効果は明らかでないことを理解して使用を決める。324, 325, 326, 327, 328, 329, 330, 331, 332, 333, 334, 335, 336, 337, 338, 339, 340, 341, 342, 343, 344(ⅡC)

1.17 三方活栓

1.17.1 三方活栓は手術室や ICU 以外では、輸液ラインに組み込まない。345, 346, 347, 348, 349, 350, 351, 352, 353, 354, 355(ⅡA)

1.17.2 三方活栓から側注する場合は、消毒用エタノールを使用する。(ⅡA)

1.18 輸液ラインの管理

1.18.1 輸液ラインとカテーテルの接続部の消毒には消毒用エタノールを用いる。356, 357(ⅡA)

1.18.2 輸液ラインは曜日を決めて週 1-2 回定期的に交換する。358, 359, 360, 361, 362, 363, 364, 365(ⅡB)

1.19 脂肪乳剤の投与に使用する輸液ラインの交換頻度

1.19.1 脂肪乳剤の投与に使用する輸液ラインは、24 時間以内に交換する。366, 367, 368, 369(ⅢA)

1.20 インラインフィルター